

令和3年度 大田原市立若草中学校 第1学年後期期末テスト範囲表

日	時	教科	範囲	学習のポイント	準備物・注意事項
2 /10 (木)	1	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・少年の日の思い出 ・初見の長文問題 ・文法「自立語と付属語」 ・上記範囲の新出漢字 ・ニュースの見方を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークや単元プリントを学習しておく。 ・文法の問題が多く出題されます。文法のワーク等でよく復習しておきましょう。 ・新出漢字は廊下プリントとして準備します。その中から出題しますので、学習を進めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの次の国語の授業で、ワークをチェックします。範囲は授業で説明します。(国語のクラスルームに掲載します。) ・初見の長文問題は、説明的文章を出題します。 ・文法は、助動詞以外を出題。 ・ニュースの見方を考えようは、授業の進度によってはカットします。その際は授業で連絡します。
	2	英語	【Lesson5, 6, 7】 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P83～117 ・ワーク P62～93 ・語順トレーニング P16～23 (授業の中で、さらに詳しい説明をします。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・範囲内の文法事項をよく確認しておくこと。 ・範囲内の日本語と英語を書けるようにしておくこと。 ・Project2000(後期期末テスト)を身につけておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク、語順トレーニングをテスト当日に提出してください。(必ず丸つけまで終わらせてください。) ・英語係は、10日の放課後までに、ワークと語順トレーニングを回収し、出席番号順に並べて学年相談室の机の上に置いてください。
	3	数学	4章○変化と対応 5章○平面図形 教科書 P128～163 ワーク P88～P105 <u>既習の計算も少し出します。</u> <u>(正の数・負の数・文字式・比例反比例の式を求めると)</u>	○比例・反比例の式を求められるようにしておく。授業で取り扱った利用の問題をよく見直しておくこと。(事象から式を作る。) ○図形の表し方を記号を使って表せるようにしておく。 ○授業で取り扱った作図を自分1人でもできるようにしておく。	<u>準備</u> コンパス・三角定規・分度器 ★作図の跡がないものは減点としますので、必ず忘れずに準備すること。(貸し出しはしません。) 2/10 放課後ワーク回収。 事前提出者以外のワークを回収し、1-3の後ろのロッカーに置いておいてください。
	4	理科	○光・音・力による現象 教科書 P204～246 力の大きさのはかり方まで ○ワーク P90～103	○問題を解いて学習するのが効率的かつ効果的です。 ○ワーク→単元テスト→廊下プリント ○右の内容を解いてチェックすると良いです。 ○ワークは、【問題を解く→丸付けをする→間違ったところに正解を書く】までしっかりやって提出。	<input type="checkbox"/> 光の屈折 <input type="checkbox"/> 凸レンズ <input type="checkbox"/> 音の速さ <input type="checkbox"/> 音の高低 <input type="checkbox"/> 音の波形 <input type="checkbox"/> 力 <input type="checkbox"/> フックの法則 ※2/10(木)ワーク提出 (ワークは理科係がテスト後、回収してください)
	5	社会	○歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥時代後半 ・奈良時代全般 ・平安時代学習した所まで ○地理 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 	○歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥時代後半とは、「大化の改新」の後を指す。 ・平安時代は、平安時代の仏教まで。 ○地理 基本の単語を確実におさえてください。その上で資料を組み合わせたり、文脈から判断したりする入試傾向に近づけた問題が出ます。	○地理ワークの提出 南アメリカ州の末尾まで テスト当日のテスト終了後すぐ、社会係に提出してください。

令和3年度 大田原市立若草中学校 第2学年後期期末テスト範囲表

日	時	教科	範囲	学習のポイント	準備物・注意事項
2 /10 (木)	1	英 語	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 p76～109 ○ワーク p72～101 ○条件作文 ○長文問題 ○リスニング問題 ○今までの総復習問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○as 原級 as、how to 動詞の原形、現在完了形(3用法)がポイントです ○文法事項の整理 ○長文対策しっかりと ○朝学が基本文です。朝学の文を英借文で使うべし! 	<ul style="list-style-type: none"> ○テスト終了後ワーク提出です。
	2	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 P128～141/P149～150 P152～170/P184～191 ○ワーク P91～95/P109～123 P132～137 ○新文法ノート P66～77 ※授業中に見た便覧のページも参考に。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の内容、ワーク、単元テスト、廊下プリントを中心に学習しましょう。 ○範囲内の全漢字の読み書きができるようにしておきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○記述問題の丸付けを希望する人は、テスト前までに尾崎まで。 ○作文があるので、時間配分に注意して解きましょう。
	3	数 学	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P94～183 4章～7章 図形・確率・箱ひげ図 	<ul style="list-style-type: none"> 図形分野は角度の問題と図形の証明ができるようにしましょう。 確率や箱ひげ図は廊下プリントを中心に学習し、基本問題を解けるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○テスト終了後にワークを回収します。全て終わらせた状態で提出できるようにしてください。
	4	社 会	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史 幕末～日清戦争前まで 教科書～P187まで ○地理 全範囲 北海道地方と地形図の問題は出題します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入試の傾向に合わせ、会話文の途中に入るセリフ等を、その前後を読解して考える問題が出ます。よく会話文を読んで正しい解釈を行い解答してください。 ○各地方に存在する有名な自然地形は一般常識として把握しておく。 ○縮尺の計算や地図記号などを復習しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史ワークの提出 明治時代、日清戦争の前まで テスト当日のテスト終了後すぐ、社会係に提出してください。
	5	理 科	<ul style="list-style-type: none"> 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季 ○教科書 p72～131 ○ノート p44～81 ○ワーク p32～59 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を解いて学習するのが効率的かつ効果的です。 ○ワーク→単元テスト→廊下のプリント ○ワークは、【問題を解く→丸付けをする→間違ったところに正解を書く】までしっかりやって提出。 ※ノート・ワークの提出 2/10の5校時終了後に係に提出、係は帰りの会終了後、第1理科室へ 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要語句を覚えましょう。 ○語句を関連付けて、はたらしきを説明できるようにしましょう。 ○湿度の計算問題を出します。廊下プリント等で解き方を理解しましょう。